

令和3年度 第2回 新潟市立亀田図書館協議会 議事概要

日 時： 令和4年3月9日（水） 午後3時30分～4時30分

場 所： 江南区文化会館 講座室1

出席者： 新潟市立亀田図書館協議会

田村委員、石坂委員、垣内委員、山本委員、荒木委員、上野委員、村山委員
事務局

伊藤亀田図書館長、小林主任

次第

- 1 開会
- 2 亀田図書館長挨拶
- 3 議事
 - (1) 令和2年度新潟市立図書館ビジョン実績評価について
 - (2) 令和3年度事業中間報告について
 - (3) 令和4年度事業計画について
 - (4) その他
 - ・図書館マイナンバー連携事業
 - ・電子図書館事業
 - ・公共施設再編案について
 - ・新潟市の図書館協議会の改編について（案）
- 4 事務連絡等
- 5 閉会

【議事】

- (1) 令和2年度新潟市立図書館ビジョン実績評価について
事務局 おおむね良い評価をいただき感謝する。
評価シートに質問が2点記載されていたので、この場で回答する。
 - ・コロナ禍におけるリモートでのレファレンスについては、電話や電子メールなどによるものを現在実施している。
 - ・セルフ貸出機の利用状況については、統計データがなく不明。並ばずにすむこと、非接触であることが利点である。案内表示などで利用を促している。子どもが抵抗なく利用しているといった印象。(質疑なし)
- (2) 令和3年度事業中間報告について
事務局 ほぼ予定どおり実施できたが、おはなしのじかんは感染症対策のため実施を見合わせた。
書架整理ボランティアは現在休止中。直接接触を避けるため、他にも必須でないものは様子見としている。

公民館との協働事業で講座（もっと活用！いきいきスマホライフ）を開催したが、初歩的な知識が不足している方が多いと感じた。今後携帯端末を使いこなすための講座を開催したい。

（質疑なし）

(3) 令和4年度事業計画について

事務局 令和3年度と同様に実施する。令和4年10月には文化会館が開館十周年を迎えるため、公民館と協働した催しのほか、電子図書館の普及に向けた取り組みや、俳句文化の掘りおこしができればと考えている。

(4) その他

- ・図書館マイナンバー連携事業
- ・電子図書館事業
- ・公共施設再編案について
- ・新潟市の図書館協議会の改編について（案）

【全体を通しての質疑・意見】

垣内委員 昨年9月24日に、ワークショップ「社会教育による次世代育成について」に参加した。小中学生には「地域と学校パートナーシップ事業」があるが、高校生はそういった学びの機会が少ない。

事務局 日本はIT化において後れをとっているが、これは高齢者に限ったものではない。一生学ぶ、働くために、生活に根ざしたITスキルが必要であり、電子図書館がその足がかりとなれるかと考える。

村山委員 協議会が再編されると、地区の意見はどのように吸い上げるのか。

事務局 利用者からは「図書館へのたより」などによって引続き意見をいただく。また、協議会の再編にあたっては各地区の意見を取り入れられるよう留意する。

村山委員 協議会は年2回開催だったが、もっと頻繁に開催しても良かったのでは。地域の自発的な盛り上げにも期待したい。

事務局 地域によっては「友の会」的なものが存在している。地域の方々によるボランティア活動などで図書館を盛り上げていただくことを考えたい。

【資料】

次第

委員名簿、座席表

資料① 第二次新潟市立図書館ビジョン 令和2年度実績 評価シート（江南区）

資料② 令和3年度 亀田図書館事業報告（中間報告）

資料③ 図書館マイナンバー連携事業

資料④ 電子図書館事業

資料⑤ 公共施設再編案について

資料⑥ 新潟市の図書館協議会の改編について（案）

（参考）かめだ図書館だより 第36号